

都留市地名考

その十五

窪田 薫

○ 小野

『甲斐国志』では、菅野熊井戸村の中に小字として細野、大津が含まれ、小野村は別村になっている。明治八年、菅野熊井戸村と小野村が合併し、開地村になった。

小野村には寛永四年（一六二七）御正体山の奥院から勧請したという若宮神社が祀られ、当時御正体信仰との密接な関係があったことが知られる。

現代小野は上・中・下の三集落に分れているが、中小野には昔から「小野田」とよばれる所があり、同所の権守久氏宅の庭隅に、小野小町（平安前期の女流歌人）を祀ると伝えられる祠がある。

『甲斐名勝志』に、「○牟登字



中小野権守久氏宅に祀る小野小町の祠

『本朝世紀』（史書、平安末期（九三五—一一五三）編、未完）に、「都留郡二小野村アリ、又穂坂ノ小野ハ歌ニモ詠メリ、小野国興ハ本州ニ在リシ牧監ノ類ナルベシ」とある。牧監とは、牛馬など放ち飼育する土地（牧）のとりしまりをする者の官職名である。古代開地地区は小野村を中心に「小野牧」がおかれた所であろう。上野原を本據とする古郡氏と小野氏は、妹子を祖とする同族で、都留郡小山田氏とは、親族の関係にあたる。

都留市商家資料館開館

消防署の国道沿いにひととき人目をひく大正時代の土蔵造りの商家仁科家は、代々この地方の特産品である絹織物の販売をし、樺太（今のサハリン）から満州（今の中国東北部）まで広範囲にわたり、得意先をもっていたことが資料に残されています。

この仁科家のような土蔵造りの商家や町屋が戦後まで谷村の町には数多くあったといわれますが、時代とともに建て替えされたり、火災に遭いその数を減らしてしまいました。

昨年、この貴重な建物を仁科家の関係者の方々から寄贈いただき内外の修復工事が完了し、都留市商家資料館として皆様に親しんでいただくことになりました。中には大正から昭和にかけての絹織物などの商家資料や、なつかしい品々を展示いたします。



これは、江戸時代後期の文化・文政時代（百八十年程前）に作られたものです。

このほか早馬町・下町・仲町でも保存されており、大変貴重なもので、市の文化財でもあり、これらは我国染織研究家の第一人者山辺知行先生と関係者によって、その当時そのままに立派に復元されたもので、毎年一回、八朔祭の当日に仁科家のような会所や早馬町の屋台などで、公開されておりますが、今回特別（四月二十九日・五月九日）に公開展示いたします。

場 所 上谷3-1-20
開館日 火・木・土・日・祝日
開館時間 午前10時～午後4時
入館料 無料

また、サークル活動などを大正時代の雰囲気ですていただけたらという多目的室もあります。
なお、開館記念として、都留市の代表的な祭り「八朔祭屋台飾り幕」の内、新町所有の『鹿島踊り』を展示公開いたします。

ふるさとの 四月

12日	赤石春日神社例祭	中津森
11日	三島神社例祭	下天神町
10日	金比羅神社例祭	市内諸寺
8日	花まつり	花まつり
8日	御獄神社例祭	横町
16日	豊川稲荷	宝鏡寺
18日	子育て延命地藏尊忌	耕雲院
20日	雛鶴神社例祭	曾雌
22日	大神宮例祭	仲町
23日	太宰府天神社例祭	境
25日	稲村神社例祭	小形山
28日	諏訪神社例祭	大原
29日	機神社例祭	大幡
5月5日	石船神社例祭	石船神社
5月5日	端午の節句	市内各地